



5月18日(土)、12人の子どもたちと4人の大人が集まってくれました。
30分足らずの短い時間でしたが、紙芝居「だんごむしのころちゃん」、「まんまるまんま たんたかたん」や絵本「3びきのねこ」、手遊びなどで、楽しい時間を過ごしました!



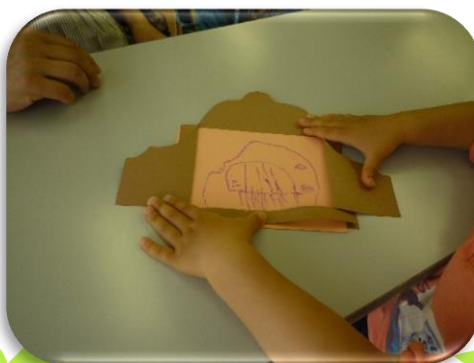
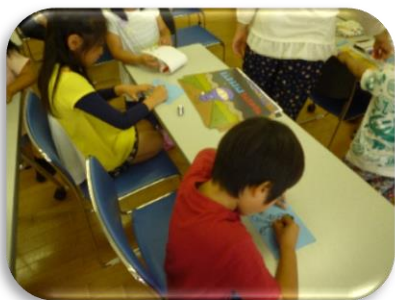


素敵なミニかみしばいづくり”

by 手芸 (てづくり) くらぶ

柴山裕美 先生

「おはなし会」の後は、そのまま素敵なミニブックかみしばい作りに挑戦です。手芸くらぶの柴山先生に教えてもらいながら、かみしばいに出てきたキャラクターなどの絵を描いて、手作りのミニかみしばいの中に差し入れました。



市民図書館利用者交流会

という名の朗読会

読書は黙ってじっくり読むもの。そんなイメージがありますが、朗読というスタイルもあることは、誰でも知っていますね。しかしながら、それに接する機会はなかなかないのが事実。また、詩や短歌、俳句に漢文。韻を踏んだ文章は、声に出してこそ良さが伝わります。

そして、本館を利用している団体でいつも、素晴らしい声で能のお稽古をしているのが、喜友会さん。

今回は前館長の強いおすすめもあり、その喜友会の鍋嶋さんをお招きして、日本人なら一度は聞いたことのある（昭和生まれまでか？）詩や令和の出典ともなった万葉集、果てはあの寅さんまで、さまざまな題材を読み聴きし、時に唱和しました。

「声」を通して改めて味わう名作・名句・名調子に昭和の大人たちは目からうろこでした。周知不足から参加者は少なかったのが残念でしたが、いつかまたバージョンアップした企画ができればと感じた新館長でした。

